

令和8年熊本地震、豪雨災害への対応

1. 令和8年熊本地震への対応

2. 令和8年豪雨災害への対応

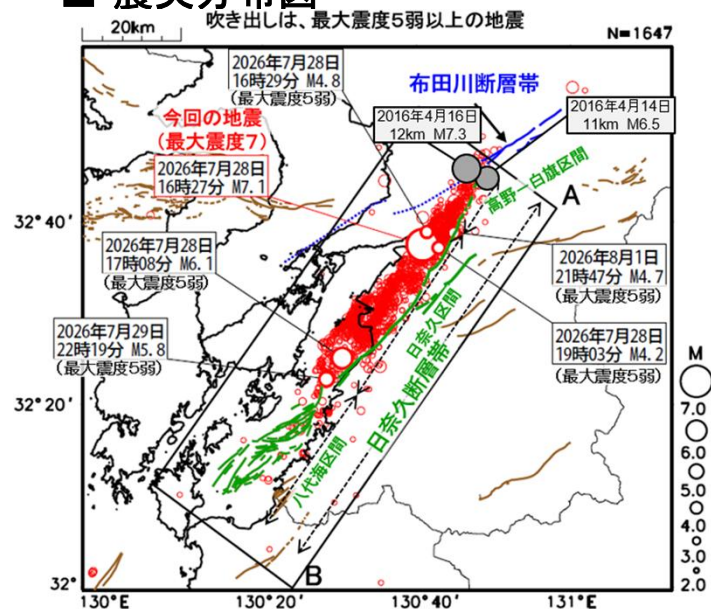
1. 令和8年熊本地震への対応

令和8年熊本地震の概要

- 2026年（令和8年）7月28日16時27分頃に熊本県熊本地方の深さ16kmでマグニチュード7.1（暫定値）の地震が発生し、熊本県宇城市（うきし）及び氷川町（ひかわちょう）で震度7を観測。また、熊本県熊本地方で長周期地震動階級4を観測。
- 地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的には緩やかに減少している。ただし、揺れの強かった地域では、8月18日から1～2か月程度、最大震度5弱程度以上の地震に注意が必要。
- 今回の地震活動域は広範囲に広がっており、地震の規模や震源との位置関係によってはM7.1の地震による揺れよりも強く揺れる場合がある。また、海底で規模の大きな地震が発生した場合、津波に注意が必要。
- 今回の地震発生以降、8月21日12時00分現在、この地震による地震活動域で、震度1以上を観測した地震が693回発生（震度7：1回、震度5弱：5回、震度4：23回、震度3：69回、震度2：168回、震度1：427回）。8月20日12時以降の直近24時間では、震度1以上を観測した地震が5回発生。

※気象庁は、この地震及びそれ以降に発生した一連の地震活動の名称を「令和8年熊本地震」と定めた。

震央分布図



（2026年7月28日16時～8月21日08時、深さ0～20km、M2.0以上）

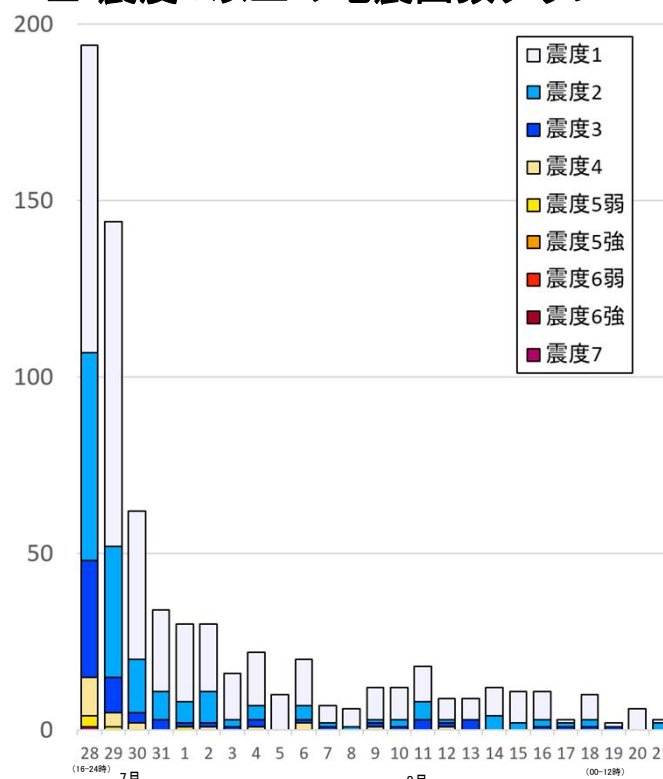
震度1以上の地震回数

（2026年8月21日12時00分現在）

震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
回数	427	168	69	23	5	0	0	0	1	693

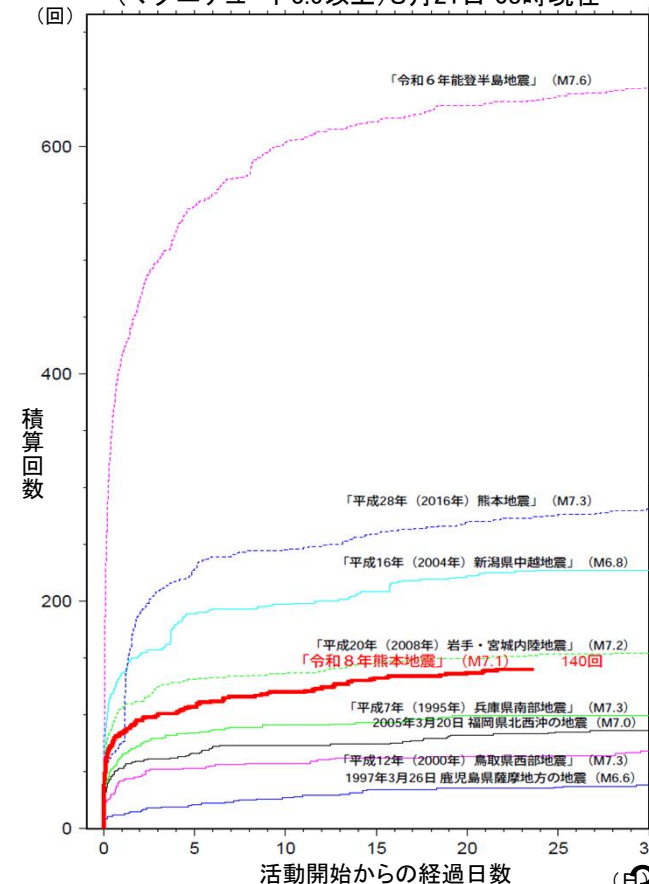
※掲載している地震回数は速報値であり、後日の調査で変更になることがあります。

震度1以上の地震回数グラフ



主な地震活動との回数比較

（マグニチュード3.5以上）8月21日 08時現在



○高速道路は、発災当初、約142kmにわたり規制を実施していたが、発災から2週間後の8月14日に九州道全線で、発災から3週間後の8月18日に、南九州道(八代JCT～八代南IC間を除く)の全線で、一般車両の通行を確保

凡 例

	通行止め区間
	通行止め区間(緊急車両通行可)
	高速道路
	国道3号、国道57号、国道219号
	県道338号、県道14号

南九州道(八代南IC~田浦IC)の
一般車両の通行を確保(8月18日)

- 九州自動車道について、松橋IC～えびのIC間で橋梁等の損傷により通行止めを行っていたが、応急復旧を行い、8月14日に九州道全線で一般車両の通行を確保
- 南九州自動車道の八代JCT～八代南IC間について、断層ずれの影響を大きく受けた妙見第一橋の被災により、通行止めを継続中、復旧方法についてNEXCO西日本が有識者委員会を設置し検討中（通行止め解除まで少なくとも2年）

■E3九州自動車道

かわだばし (1)川田橋



損傷状況(橋桁の座屈)

かたのがわばし (2)片野川橋



損傷状況(橋桁のずれ)



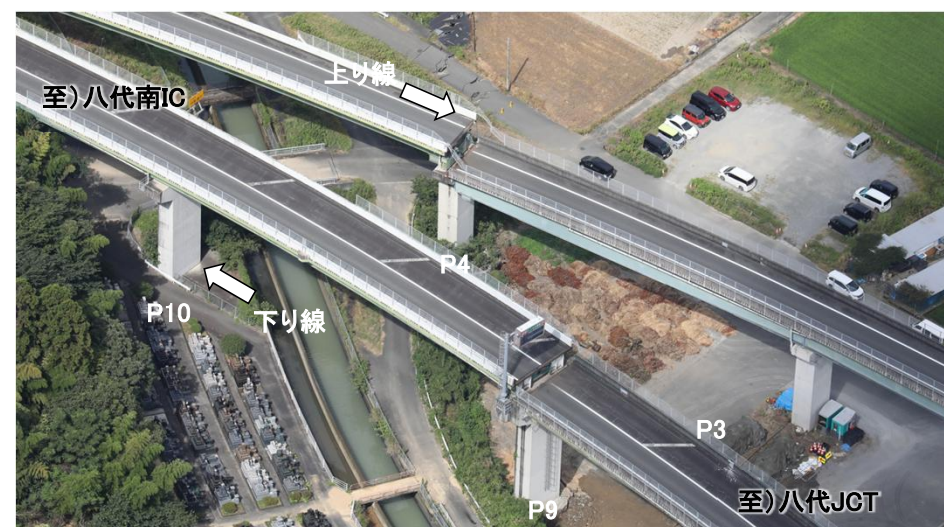
下り線応急復旧後



応急復旧後

■E3A南九州自動車道

みょうけんだいいちきょう (3)妙見第一橋



断層ずれの直接的な影響により、上下線ともに、橋脚が隆起・沈下し、また水平方向も変位が発生。その結果、隣接する橋脚間で1mを超える高低差、間隔差が複合的に発生し、橋桁、橋脚が損傷

○八代市では、橋脚の沈下や傾斜、落橋、道路損壊が発生。また、八代港湾区域内の市道で液状化が発生し、タンクローリーの走行が困難となり、燃料の出荷に影響した。御船町及び甲佐町では、橋梁損傷、落石、法面崩落が発生

やつしろ しらぬい
県道338号八代不知火線
横江大橋(熊本県八代市)



橋脚の傾斜・沈下

やつしろ かがみ
県道42号八代鏡線
植柳橋(熊本県八代市)



下流側側道(歩道部)の落橋

なかつみち やつしろ
県道158号中津道八代線
(熊本県八代市)



道路損壊

八代市道
(熊本県八代市)



液状化による噴砂

みふね こうさ
県道239号御船甲佐線
メロディー橋(熊本県上益城郡御船町)



上部構造が直角方向へ移動

ますき やべ
県道57号益城矢部線
(熊本県上益城郡御船町)



落石

さんぼんまつ こうさ
県道220号三本松甲佐線
(熊本県上益城郡甲佐町)

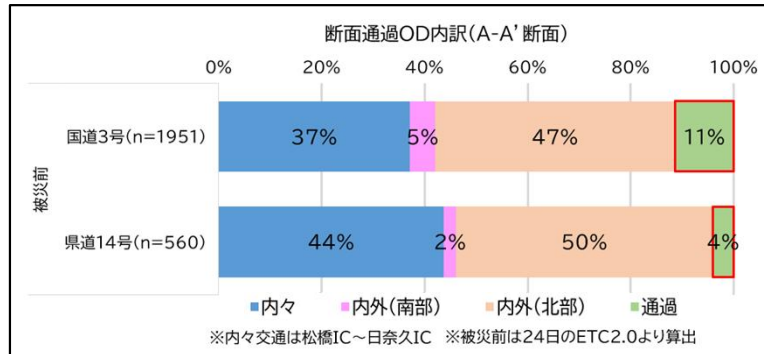


法面崩落

熊本地震発生前後の交通状況

○熊本地震発生後は九州自動車道等の通行止めに伴い、通行規制箇所[※]に並行する国道3号、県道14号に交通集中による渋滞が発生

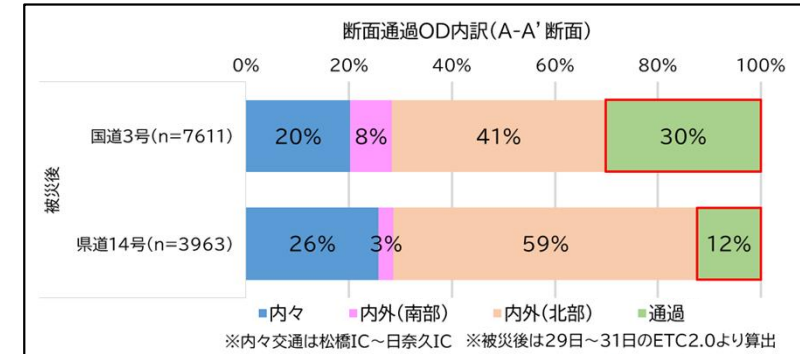
【地震発生前】



7月27日 13:00-14:00 交通状況

【地震発生後】

※ETC2.0プローブデータより作成



7月30日 13:00-14:00 交通状況

- 被災地周辺の交通を円滑にするため、発災翌日に、国土交通省、熊本県、高速道路会社、有識者等の関係者で構成される「熊本県災害時交通マネジメント検討会」を設置
- 被災地周辺の交通を円滑にするため、走行性の向上を図るための集中的な舗装補修工事や被災地周辺へ集中する交通を分散するための迂回案内を実施

○被災地周辺の道路状況や交通状況を関係機関で情報共有

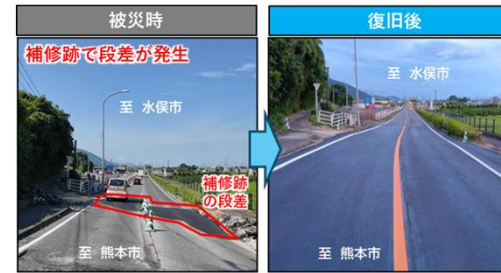


検討会開催時の様子

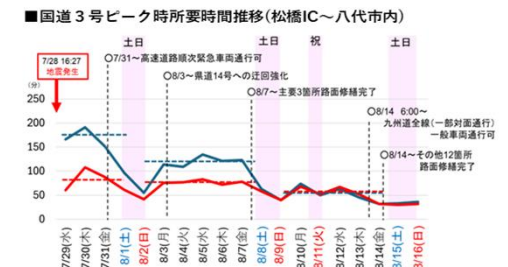


発災後の渋滞の様子
(国道3号・熊本県水川町)

○幹線道路の国道3号において、通行車両の速度改善を目的として、集中的な舗装補修工事を実施



舗装修繕工事の前後
(国道3号・熊本県水川町)

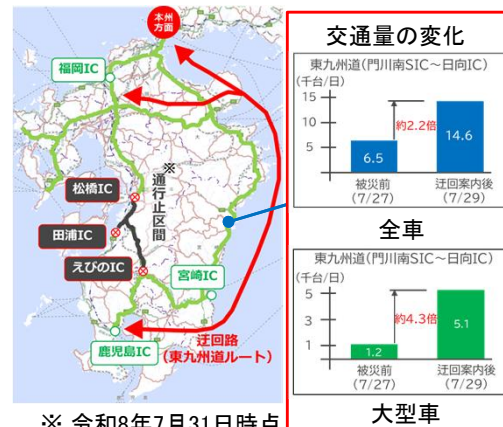


国道3号のピーク時所要時間推移

○国道3号に集中する交通を分散するための迂回案内や被災地周辺への交通流入を抑制するための広域迂回案内
※東九州自動車道に広域迂回をしたETC車に対し料金調整を実施(実施期間:8/7～8/16)



※ 令和8年8月2日時点
国道3号の交通分散案内



東九州道への広域迂回

○運休している肥薩おれんじ鉄道は、国道3号を通過するルートで8月10日(月)より代行輸送を開始
令和8年8月10日(7-8時)の速度状況



○「道路の規制情報」に「ETC2.0通行実績データ」、「民間プローブデータ」を重ね合わせた「令和8年熊本地震通れるマップ」を発災翌日(7月29日)からホームページで公開し、8月31日まで日々更新

VICSセンター・JARTIC

国土交通省

令和8年熊本地震通れるマップ

民間プローブデータ

トヨタ自動車(株)

日産自動車(株)

本田技研工業(株)

いすゞ自動車(株)

日野自動車(株)

ETC2.0 通行実績データ

【約1,704万台※】
※R8.8時点

道路の 規制情報

パトロール
カメラ
防災ヘリ等

通れるマップ

フェーズ1 人命救助
(道路管理者・消防・警察・自衛隊)

フェーズ2 緊急物資輸送等
(輸送関係者、各種インフラ事業者)

フェーズ3 一般車両通行
(一般利用者)

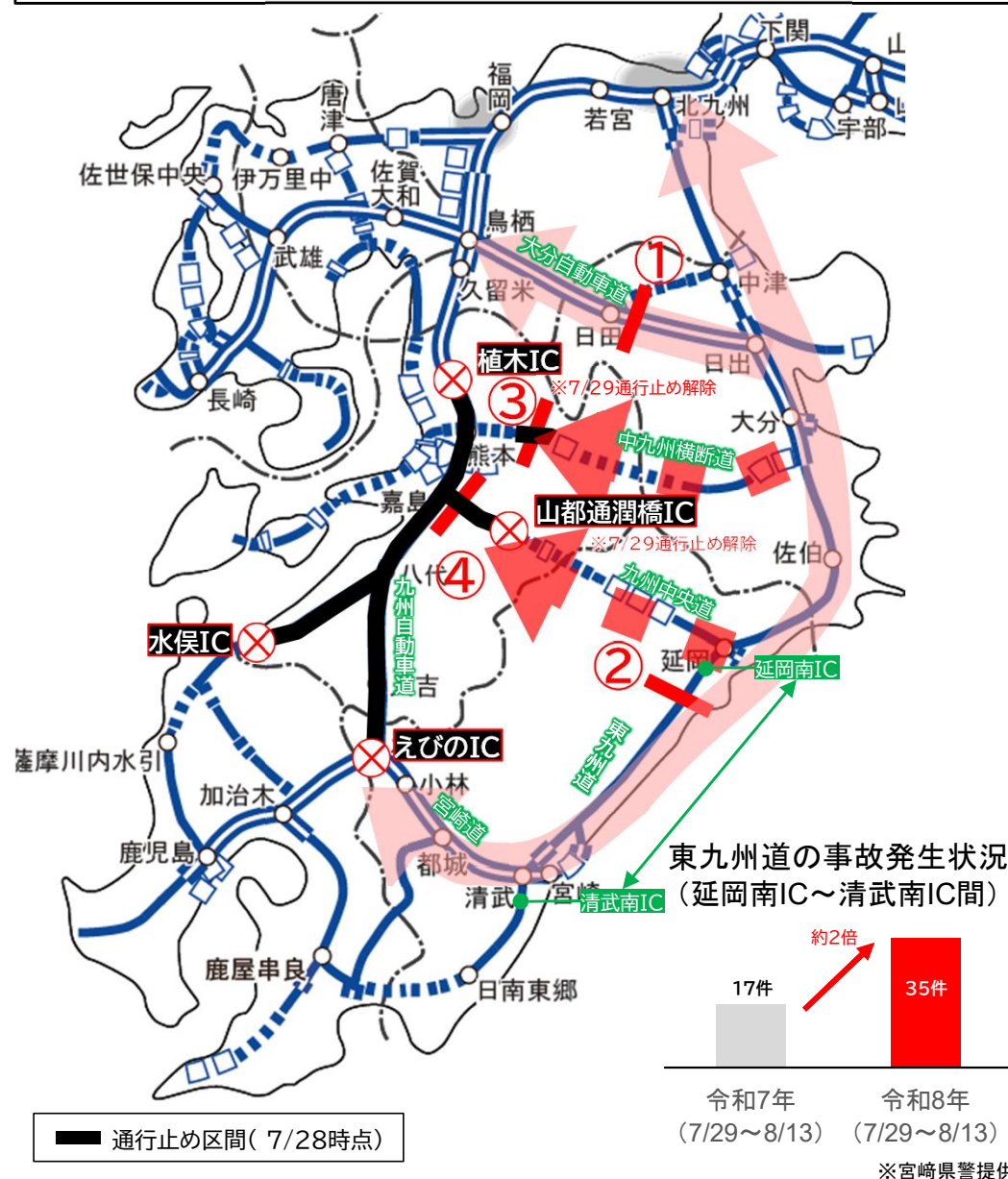
共有



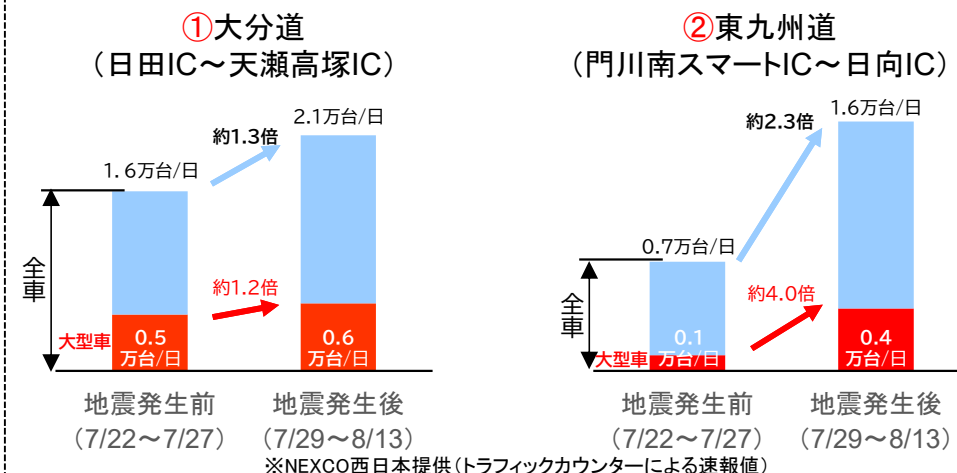
凡例	
ETC2.0プローブデータ(平均速度)	規制情報
時速20km以下	規制中(被災)区間
時速21km以上	高速道路(有料道路を含む)・直轄国道・補助国道・都道府県道等
民間プローブデータ	規制解除後(被災区間のみ)
通行実績	

※民間プローブデータ提供元
トヨタ自動車(株)、日産自動車(株)、本田技研工業(株)、
いすゞ自動車(株)、日野自動車(株)

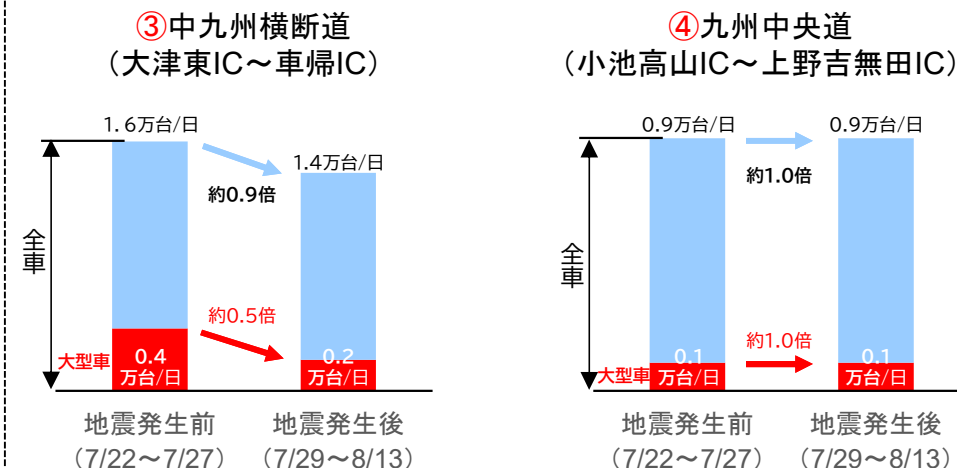
- 九州道等の九州西側の南北の大動脈が通行止めとなったが、被災後は東九州道・大分道・宮崎道等を経由するルートにより、広域交通の機能を確保
- 一方で、未整備区間の残る中九州横断道や九州中央道等では、交通量はほぼ横ばいか減少
- 暫定二車線区間の残る東九州道では、九州道の通行止め期間中に事故が大幅に増加し、広域的な迂回に障害



＜大分道・東九州道・中九州横断道・九州中央道の交通量推移＞



大分道は平常時の約1.3倍(大型車は約1.2倍)、東九州道は平常時の約2.3倍(大型車は約4.0倍)の交通量となり、リダンダンシーを発揮。



九州中央道、中九州横断道の交通量はほぼ横ばいか減少。

- ## ■熊本県の物流拠点



○復旧支援のため、高速道路では、管理用車両及び緊急自動車に加えて、災害派遣等従事車両を緊急車両として通行

緊急車両の取扱い

○管理用車両



○緊急自動車



○道路管理者が通行を認めた車

⇒熊本地震では災害派遣等従事車両証明書を携行する車両



※警察の協力も得て、通行可能車両を確認

(参考)高速道路 無料通行措置の取扱い

○災害派遣等従事車両

▷被災自治体の要請により、救援物資等の輸送・災害救援のために使用する車両

○災害ボランティア車両

▷被災自治体が要請、受入を承諾したボランティアセンターにおける活動のために使用する車両



▲グランメッセ熊本への支援物資搬入状況



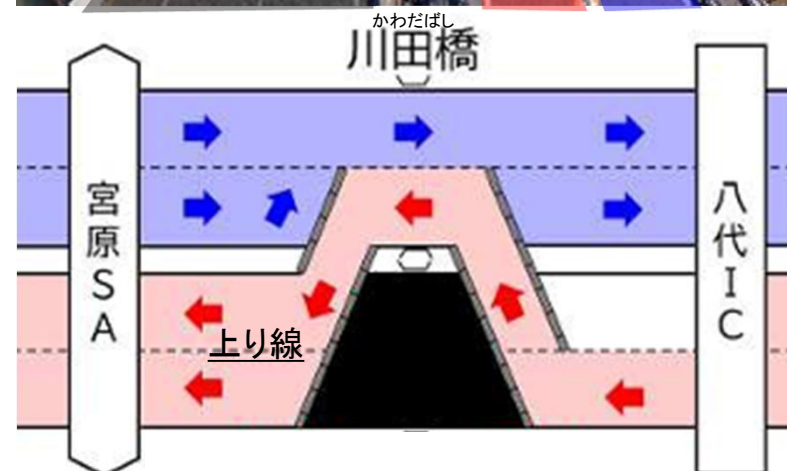
▲八代市内での給水支援の状況

九州道（4車線）による 早期復旧の効果

- 令和8年7月28日に発生した地震により、九州自動車道の宮原SA～八代IC間に位置する川田橋で橋桁の損傷等が発生し、通行不能となった
- 九州自動車道は4車線であったため、被害の小さい下り線の復旧を優先して実施し、発災から17日後の8月14日には、下り線を利用した一般車両の対面通行を開始した



【川田橋の被災状況】



【下り線を利用した対面通行】

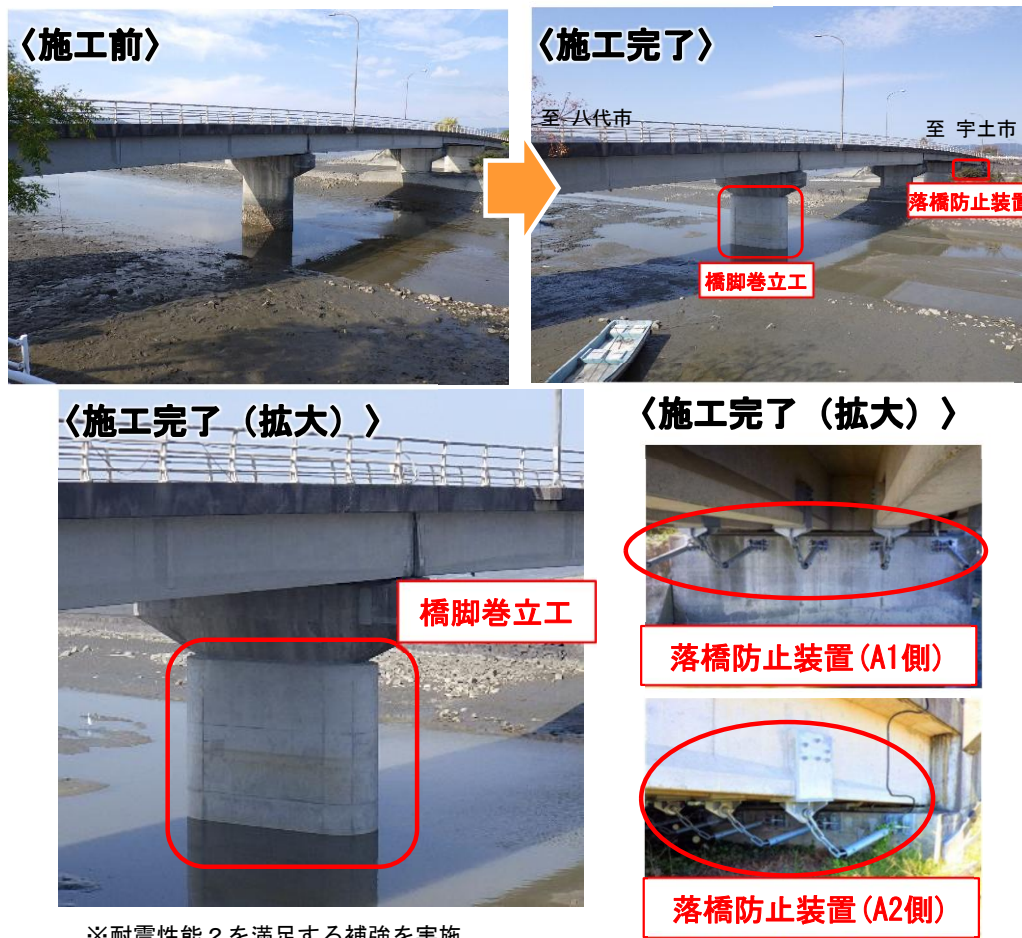
●一般県道八代不知火線 砂川大橋における耐震補強

- 熊本県宇城市の一般県道八代不知火線 砂川大橋において、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として、橋梁の耐震補強（耐震性能2）を実施（令和3年度に対策完了）
- 令和8年7月28日に熊本県熊本地方を震源とする地震では、宇城市松橋町で震度6強を観測したが、当該施設においては大きな被害は生じず、第2次緊急輸送道路のネットワークの機能を維持した

位置図



対策前・対策後



※耐震性能2を満足する補強を実施
（速やかな機能回復が可能な性能を目指す対策）

○道の駅を発災直後の広域応急復旧活動の拠点として活用するほか、全国の道の駅に配備したコンテナ型トイレを被災地に派遣する等、早期復旧・被災者支援の取組を推進

災害時における道の駅の活用

広域応急復旧活動の拠点

防災拠点自動車駐車場（道路法48条の29の2）に指定されている道の駅「たのうら」では、九州電力(株)との協定に基づく要請を踏まえ、電力の復旧活動を支援するため、駐車場の一部において道路法に基づき一般利用を制限※

※「防災拠点自動車駐車場」（国土交通大臣指定）では、災害時に道路法（48条の29の3）に基づき広域災害応急対策の拠点としての利用以外の一般利用の禁止・制限が可能



九州電力(株)の復旧班車両の利用状況



制限区域を示す標識の設置

施設の早期復旧

被災した駐車場等の施設を早期に復旧
⇒ 休憩機能等の早期確保、地元生産者の販路確保に資する地域振興施設の営業再開を後押し



被災した駐車場の応急復旧
(道の駅竜北(氷川町))

道の駅による広域支援

防災用コンテナ型トイレの派遣

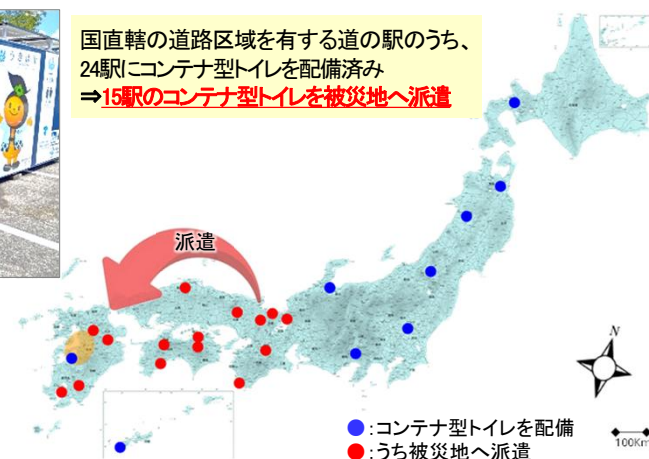
全国の道の駅に配備されている防災用コンテナ型トイレ※(水道や電源への接続が不要)をプッシュ型で被災地に広域派遣
⇒被災地のニーズに沿ったトイレ環境の確保

※ 配備された道の駅が被災(断水・停電)した場合でも、トイレの継続利用が可能



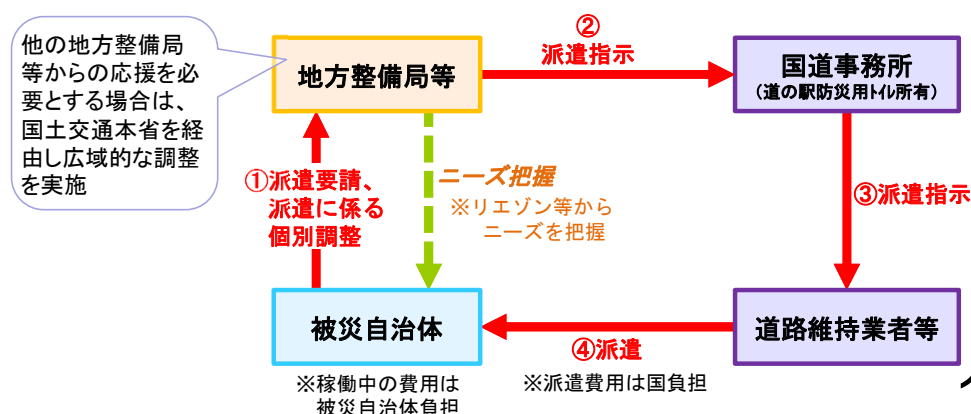
防災用コンテナ型トイレの利用状況

国直轄の道路区域を有する道の駅のうち、24駅にコンテナ型トイレを配備済み
⇒15駅のコンテナ型トイレを被災地へ派遣



全国の道の駅に配備した防災用コンテナ型トイレの派遣

■派遣要請～派遣までの流れ



- 令和8年熊本地震の発生後、全国の地方整備局等からTEC-FORCEを派遣し、被災状況調査など実施・支援
- 国土交通省が保有する散水車(給水機能付)による被災者への給水支援なども実施

TEC-FORCE隊員による被災状況調査



ひかわちよう
道路の被災状況調査 (氷川町)



ひかわちよう
道路の被災状況調査 (氷川町)

被災状況調査の結果報告



うと
被災状況調査の結果報告 (宇土市)

散水車(給水機能付)による給水支援



うと
被災者への給水支援 (宇土市)



貯水槽
簡易水道貯水槽への給水 (嘉島町)

防災用コンテナ型トイレの派遣



ひかわちよう
道の駅竜北での支援状況 (氷川町)

- 国総研・土研の技術チームによる自治体管理橋梁への技術支援を実施
- 依頼のあった橋梁を対象に、被災状況の確認や復旧方法に関する技術的助言を実施し早期復旧を支援

■技術支援件数：13橋※

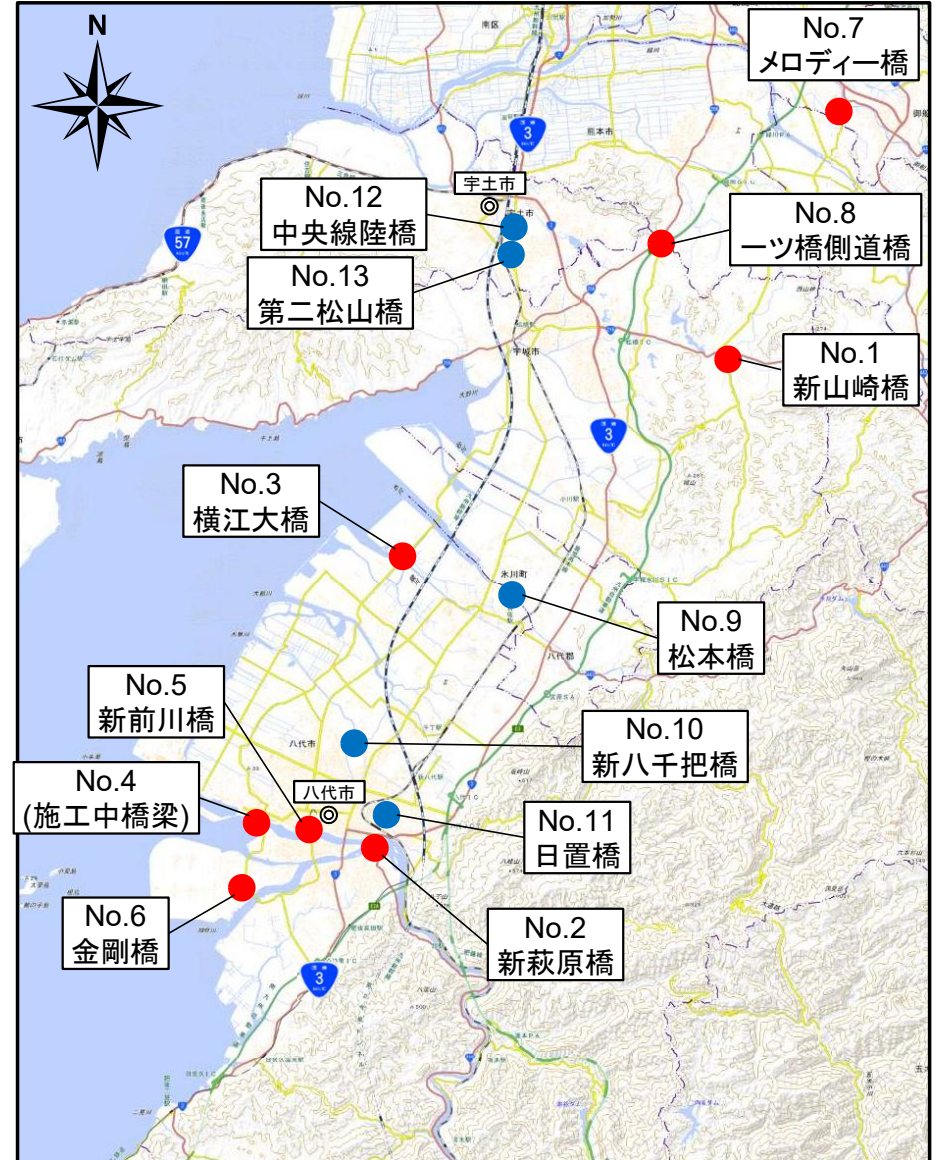
熊本県：8橋
(補助国：2橋、県道：6橋)
八代市：3橋※
宇土市：2橋

※人道橋1橋を含む

■技術支援状況

No.	日付	管理者	路線名	橋梁名
1			国道218号	新山崎橋
2	7月29日(水)	熊本県	国道219号	新萩原橋
3			県道八代不知火線	横江大橋
4			南部幹線道路	(施工中橋梁)
5	7月30日(木)	熊本県	県道八代鏡線	新前川橋
6			県道八代不知火線	金剛橋
7		熊本県	県道御船甲佐線	メロディー橋
8			県道松橋インター線	一ツ橋側道橋
9	7月31日(金)	八代市	市道水川通り2号線	松本橋
10			市道上野町高小原町線	新八千把橋
11			市道萩原町島田町線	日置橋
12	8月1日(土)	宇土市	市道中央線	中央線陸橋
13			市道中央線 打越岩熊線	第二松山橋

■位置図



▲7月29日_国道218号 新山崎橋の調査状況



▲7月30日_県道八代鏡線 新前川橋の現地調査



▲8月1日宇土市内の損傷した橋梁の現地調査状況



▲7月31日_八代市内の損傷した橋梁の現地調査

- 通行規制の状況や応急復旧工事の進捗等について、SNS等で随時発信した
- 動画や写真等を多用した分かりやすい投稿を心がけた
- 本省・地整・NEXCO西日本等が相互リポストするなど、関係機関が連携して発信
- 応急復旧が進む様子を発信することで、被災者の安心や復旧・復興に向けた希望に繋がるとともに、夏期の暑い中で復旧にあたる職員や建設業者の活動を発信し、道路の復旧作業への理解促進を図ることが出来た
- 一方、被災状況や復旧の現場を写真や動画で記録する人手の確保に苦慮した

■ 通行規制等の状況を発信

国土交通省 熊本河川国道... @mlit_kumamoto

フォロー

【#国道3号の通行について】

#令和8年熊本地震により被災した国道3号（道の駅うき〜八代市二見赤松町）については、応急的な復旧工事により開放している箇所もあり、路面の段差で走行しにくい状況です。路面状況にご注意ください。今後、路面を平坦にする工事を随時実施していきます。

#道路情報

午後0:35・2026年7月30日・9,157件の表示

110 154 16

■ 事務所の投稿をNEXCO西日本がリポスト

【公式】NEXCO西日本さんがリポスト

国土交通省八代河川国道事務所 @mlit_yatsushiro

#南九州道 の#日奈久IC〜#田浦ICの早期復旧に向け、作業を行っています。

本日、日奈久ICの路面の舗装補修を行っています。#八代河川国道事務所 #九州地方整備局

午後2:27・2026年8月4日・2.2万の表示

9 163 905 14

■ 復旧作業にあたる姿を発信

国土交通省八代河川国道事務所 @mlit_yatsushiro

#南九州道 は、7月28日発生の#熊本地震により、現在#日奈久IC〜#田浦IC間で通行止めを行なっています。

本日、現場気温38度を超える暑さの中で復旧作業を行なっています。

現場では、熱中症対策として、こまめな水分塩分補給や空調服着用など、作業員の体調管理を行いながら作業を進めています。

2026年07月30日 18:00・10.6万表示

30 484 3,155 27

短い動画を用いた発信

【直面した課題】

【主な検討課題】

災害時交通マネジメント

- 発災翌日以降に検討会を順次開催したが、特に発災直後の機動的な開催に課題。
- 迂回案内等を行ったものの、被災地を通過する交通が一定程度生じるなど、被災者の移動等に影響
- 鉄道の被災に伴う代行バス等の運行ルートについては鉄道事業者が決定

- 高速道路の寸断等に伴う交通集中・渋滞が発生する認識のもと、発災直後から被災地周辺の円滑な交通（特に被災者の移動）を確保するための「災害時交通マネジメント検討会」の機能・実効性をどのように強化すべきか。

リダンダンシーの確保・道路ネットワークの強化

- 活断層のずれにより、道路が損傷し復旧が長期化
- 高速道路の寸断等により、広域迂回路や被災地周辺の迂回路への交通集中等による渋滞や事故が発生し、車両の移動が阻害。

- 今後発生が想定される活断層の変位など災害による道路ネットワークの分断を踏まえ、リダンダンシーの確保や道路ネットワークの強化など道路の強靱化について検討すべきではないか。

緊急開口部等の構造・運用強化

- SA・PAの管理用通路や緊急開口部を活用し、高速道路の被災していない区間を最大限生かしたが、アクセス道路含めた通行条件の確認等に時間を要した。

- 本線被災時に道路ネットワーク機能を最大限発揮するため、アクセス道路含めた管理用通路等の構造・運用や発災時の役割分担はどうあるべきか。

【直面した課題】

【主な検討課題】

高速道路の緊急通行の運用明確化

- 高速道路の無料通行措置（災害派遣等従事車両）の制度を転用して、緊急車両を通行させたことにより、現場への周知が行き届かず、車両誘導に支障をきたした。



- 緊急車両を通行可能とする仕組みと対象は、どのようにあるべきか。

エネルギー輸送

- 計画上、防災拠点として位置付けられていたものの、道路啓開の確認・対応が遅れ、アクセス確保に時間を要した。



- 重要拠点へのアクセス確保を優先的かつ確実に実施するための道路啓開の確認方法など、運用改善を検討する必要がある。

被災者支援（トイレ等）

- コンテナ型トイレの仕組み・特徴等の周知が十分でなく、派遣や運用開始、その後のメンテナンス等に時間を要した。



- コンテナ型トイレ等の配備のあり方や被災自治体等のニーズに応じたコンテナ型トイレ等の迅速な派遣・マッチングはどうあるべきか。

災害時広報の強化

- 被災現場で記録を行う人員確保に苦慮した。
- 復旧の進捗を効果的に伝えられた一方で、現場最前線の従事者の頑張りが十分に伝わりきらなかった。



- 被災状況や復旧現場の広報において、現地で写真・動画による記録を行う人員確保や、効果的な情報発信はどうあるべきか。

2. 令和8年豪雨災害への対応

令和8年8月以降の豪雨被害状況

○令和8年8月以降、全国各地で豪雨による土砂流入、冠水等の被害が発生している状況

②令和8年8月27日の大雨

国道415号石川県羽咋市(土砂流入)



令和8年8月27日

国道160号富山県氷見市(路面冠水)



令和8年8月27日

③令和8年台風第24号及び前線による大雨

福島県いわき市道アンダーパス(冠水)



令和8年9月7日

24時間降水量
300ミリ超を記録

③令和8年台風第24号及び前線による大雨

国道22号名古屋市(路面冠水)



令和8年9月8日

24時間降水量
200ミリ超を記録

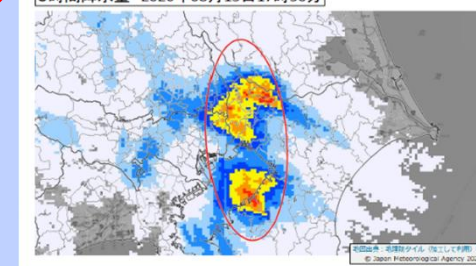
①令和8年8月千葉豪雨

国道16号アンダーパス(冠水)



令和8年8月13日

3時間降水量 2026年08月13日17時50分



24時間降水量
200ミリ超を記録

④令和8年台風第25号による大雨

国道127号千葉県鋸南町(法面崩落)

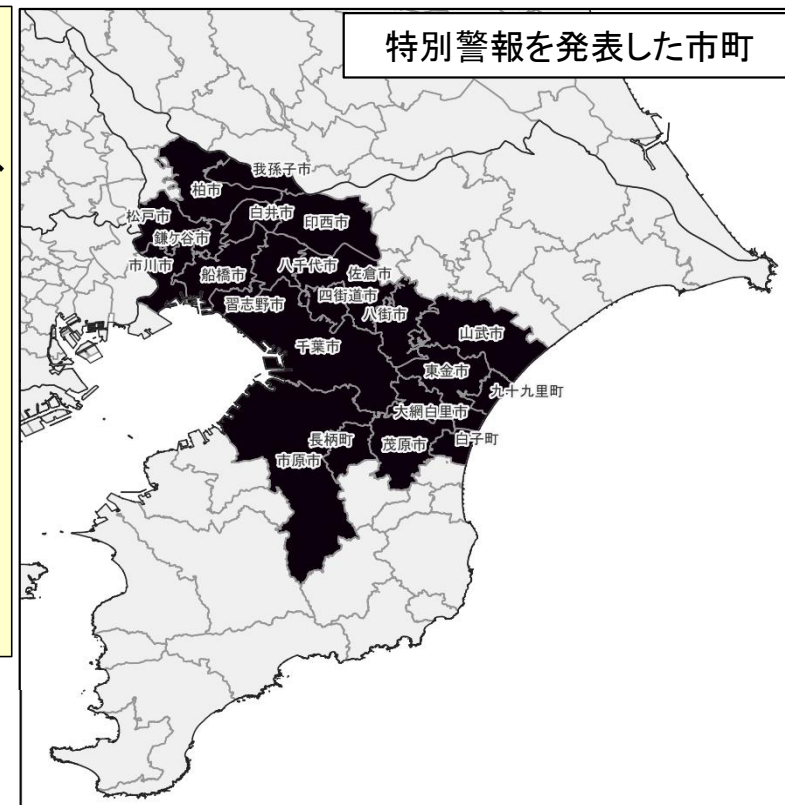


令和8年9月21日

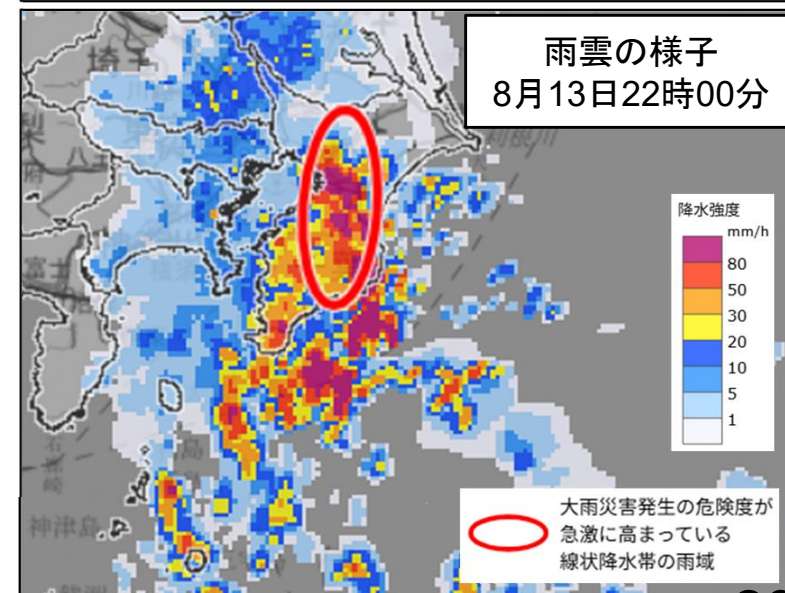
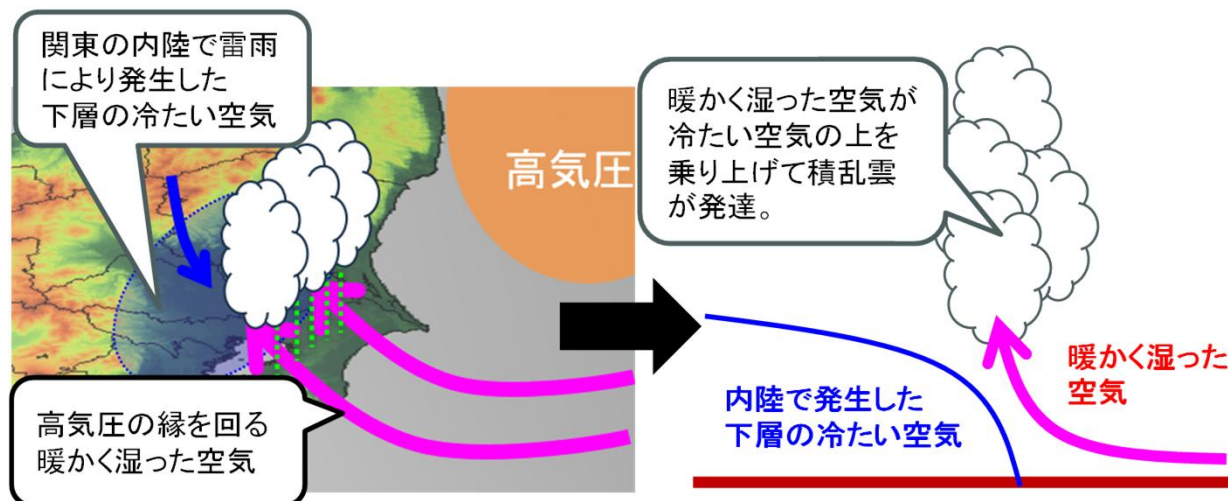
総雨量450ミリ超を記録
※9月19日～21日

令和8年8月千葉豪雨の概要

- 千葉県では13日夕方以降、線状降水帯が発生し雨雲が長時間同じ所で停滞したため記録的な大雨となった所があり、特に千葉市では、平年の8月の総降水量の3倍以上となる360ミリを超える降水量を観測し、観測史上1位を更新した。
- この記録的な大雨により、千葉県には13日19時30分から14日05時15分にかけて、レベル5大雨特別警報やレベル5土砂災害特別警報を広い範囲に発表。
- 13日は、この時期としては強い上空の寒気や、高気圧の縁を回り東から入る暖かく湿った空気により、雨雲が発達した。関東地方内陸部で日中の雨や雷雨により発生した下層の冷たい空気の影響で、この雨雲が西に動かず同じ地域に停滞したため、降水量が急激に増加した。



現象のイメージ



令和8年8月千葉豪雨による道路の被災・対応状況

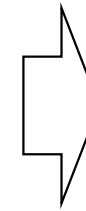
○令和8年8月13日(木)から14日(金)にかけての大雨により、千葉県において高速道路等での大規模な土砂災害や、アンダーパス部等の冠水による通行止め等が発生

○高速道路については、発災当初4路線16区間で法面崩落などにより通行止めとなったが、復旧作業を進め、4日後の8月17日までに全線で規制解除

・道路の被害状況等(通行止め)

	8/14_06:00	8/16_07:00	8/17_07:00	8/31_13:00	9/9_08:00
高速道路	4路線16区間	2路線7区間	全て解消	-	-
直轄国道	1路線1区間	全て解消	-	-	-
補助国道	5路線5区間	1路線1区間	全て解消	-	-
都道府県道等	2県9区間	2県8区間	2県7区間	1県2区間	1県1区間

・被害・対応状況



＜高速道路の土砂災害・復旧状況(圏央道)＞



令和8年8月27日からの大雨による道路の被災・対応状況 国土交通省

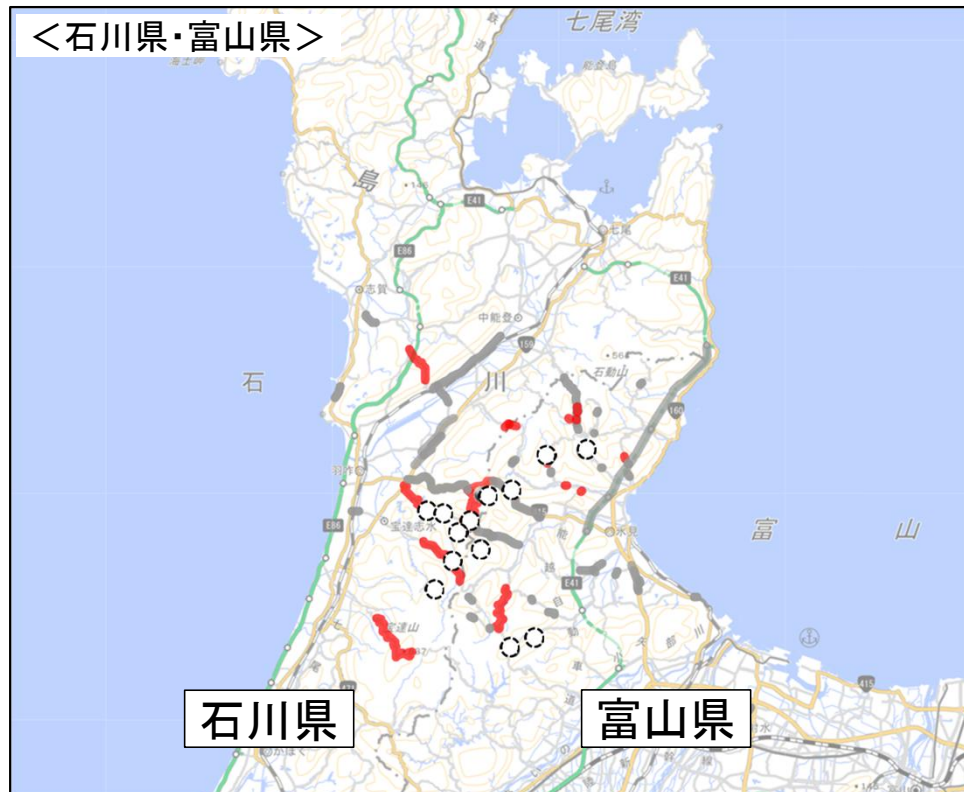
○令和8年8月27日(木)明け方から朝にかけての大雨により、石川県、富山県、福井県等において、国道等で路面冠水や土砂流入による通行止めが発生

○国等において、災害対策基本法による被災車両の移動できる区間を指定し、立ち往生車両を移動

・道路の被害状況等(通行止め)

	8/27_14:00	8/28_04:00	9/7_14:00	9/8_04:00	9/9_06:00
高速道路	1路線3区間	-	-	-	-
直轄国道	1路線1区間	2路線2区間	1路線1区間	1路線1区間	1路線1区間
補助国道	2県3区間	2県3区間	3県3区間	2県2区間	2県2区間
都道府県道等	2県18区間	2県32区間	3県21区間	3県21区間	3県19区間

・被害・対応状況



- 令和8年9月7日福島県いわき市において、大雨によるアンダーパス冠水が発生し、人的被害が発生
- 令和8年9月8日愛知県で線状降水帯が発生し、平年の1ヶ月の雨量に相当する200ミリを超える記録的な大雨となり、名古屋市内の国道等での路面冠水により、通行支障となる被災車両が発生し、関係機関で構成する「名古屋市都市部の道路冠水災害に係わる交通マネジメント検討会」を設置し、被災車両への円滑な対応に向けた取組を推進
また、大曽根国道駐車場において、予防的閉鎖の実施により、人的・物的被害を防止

・福島県いわき市
アンダーパス冠水状況



・愛知県名古屋市 路面冠水状況



・大曽根国道駐車場(名古屋市)の状況



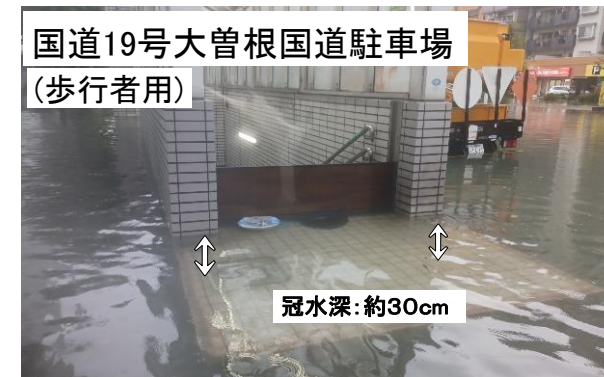
(参考)通常時



国道22号 中 菊ノ尾(交)東



国道19号大曽根国道駐車場 (歩行者用)



令和8年台風第25号による大雨

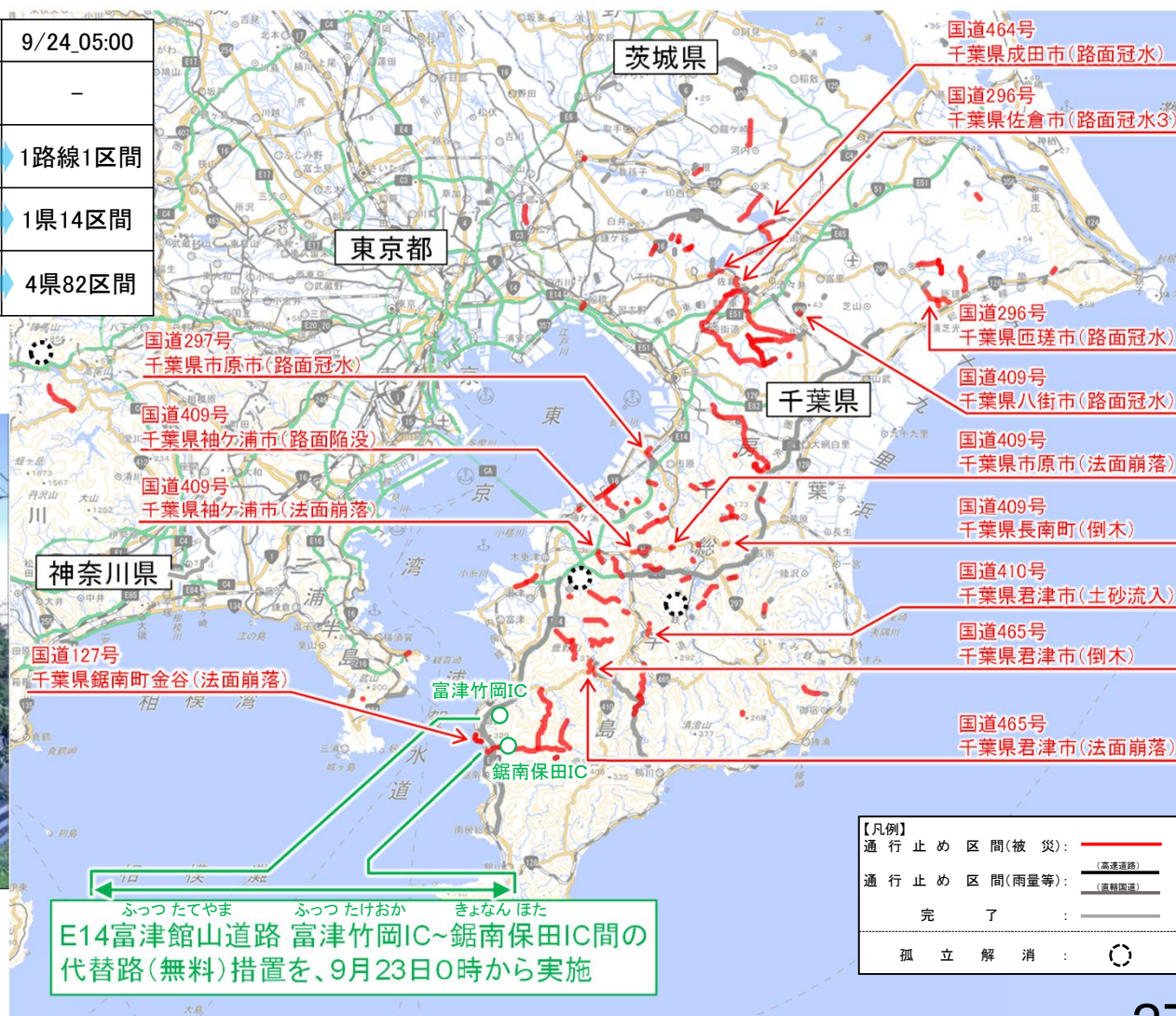
- 令和8年9月19日から21日までの総雨量が450ミリを超える記録的な大雨となり、千葉県、神奈川県、茨城県等において、高速道路、国道等で法面崩落や路面冠水による通行止めが発生
- 国道127号の復旧に時間を要する見込みであることから、並行するE14富津館山道路において、高速道路の代替路^{ふつつたてやま}（無料）通行措置を実施

・道路の被害状況等（通行止め）

	9/21_07:00	9/22_06:00	9/22_17:00	9/23_06:00	9/24_05:00
高速道路	-	4路線17区間	3路線13区間	-	-
直轄国道	-	2路線2区間	1路線2区間	1路線2区間	1路線1区間
補助国道	-	3県5区間	1県16区間	1県16区間	1県14区間
都道府県道等	2県11区間	4県37区間	4県37区間	4県90区間	4県82区間

・被害・対応状況

国道127号 千葉県鋸南町金谷（法面崩落）



○令和8年8月の千葉豪雨により、千葉県の内房地域と外房地域を結ぶ主要幹線道路である県道生実本納線（旧千葉外房有料道路）において、法面からの大量の土砂流出等の被害が発生し、辺田十字路～大木戸ICが通行止め

○千葉県・千葉市からの支援要請を受け、国（TEC-FORCE）は、TEC-FORCEパートナー、TEC-FORCEアドバイザー、国土技術政策総合研究所及び土木研究所と連携して、（一社）千葉市建設業協会とともに緊急復旧（道路啓開）を実施し、9月3日に全線の通行止めを解除

【活動概要】

■活動経緯

8月13日～
令和8年8月千葉豪雨

8月20日
千葉県・千葉市より支援要請

8月21日～

現地調査 技術的な助言 体制準備

8月24日～

緊急復旧(道路啓開)
現地調査
技術的な助言

9月3日
全線通行止め解除

■ 支援体制

[現地調査・緊急復旧(道路啓開)]

- ・国 (TEC-FORCE)

・TEC-FORCEパートナー

〔(一社)日本建設業連合会
(一社)建設コンサルタンツ協会〕

[現地調査・技術的な助言]

・TEC-FORCEアドバイザー
(東京理科大学 塚本教授)

・国土技術政策総合研究所

・土木研究所

【位置図】



現地調査(土砂流出箇所)
【TEC-FORCEアドバイザー】



現地調査(橋台背面の崩壊箇所)
【国土技術政策総合研究所
・土木研究所】



現地調査(橋台背面の崩壊箇所)
【TEC-FORCEパートナー】



緊急復旧(土砂流出箇所)
【TEC-FORCEパートナー】



緊急復旧(橋台背面の崩壊箇所)
【TEC-FORCEパートナー】 〇

令和8年千葉豪雨における被災車両の対応について

- 千葉県、千葉市、佐倉市、大網白里市等で、災害対策基本法による被災車両の移動ができる区間を指定
- 関東地方整備局において、千葉市に対し、TEC-FORCEによる被災車両移動の支援やレッカー車最大17台の派遣、仮置き場の提供などを実施
- 8月18日に設置した、国、県をはじめ関係機関で構成するプロジェクトチームにおいて、被災車両への円滑な対応に向けた取り組みを推進
- 千葉県内の道路上の被災車両は、8月31日までに全て撤去が完了(最大約3,100台)
- 所有者と連絡が取れない車両は、引き取りを円滑に進めるため、8月25日から車両番号の一部や車種などの情報をホームページで掲載

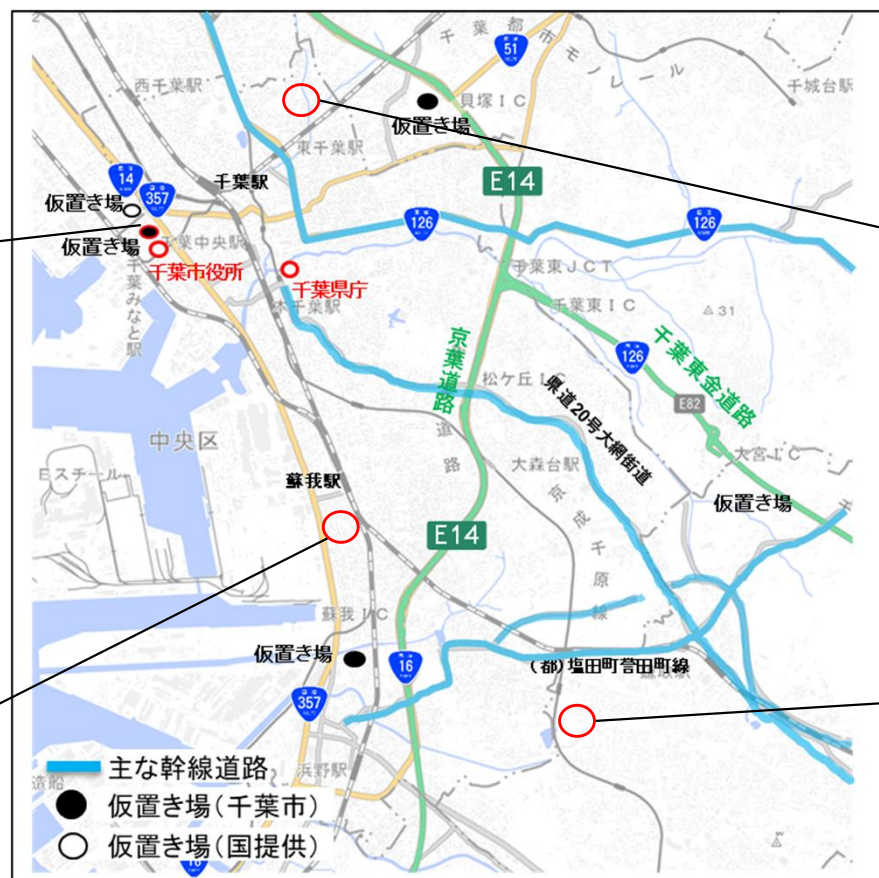
○路肩等から仮置き場への移動



・車両仮置き場の状況
(国提供地: 国道357号千葉市役所付近)



・路肩から搬送



○交通阻害車両の路肩への移動 (8月16日～)



・路肩への移動(車両用移動用装置)



・路肩への移動(人力)

- 国道16号アンダーパス等において、冠水により、車両の水没、人的被害の発生
- 国道16号アンダーパスでは、冠水のおそれが高まった段階で予防的に通行規制を行う取組を、9月1日から直轄国道で初めて導入。その後、21箇所を追加導入。また、自治体管理道路でも56箇所導入済み
- 速やかにガイドラインを策定するなど、冠水事故防止の取組を推進

8月13日(木) 20時30分

千葉市市内において停電が発生したが、当該アンダーパスの非常用発電機が作動せず、排水設備等の稼働が停止
(出水期前点検時は異常なし、当日も停電発生時間まで稼働)

緊急点検 8/14~

原因究明 8/15~

8月21日(金)点検結果発表

- アンダーパス等の冠水のおそれがある箇所について、全国直轄国道で緊急点検を実施(102箇所)
- 結果、3箇所異常を確認(2箇所修繕済、1箇所8月中旬に修繕完了)
- 8月21日から村田町と類似の設備の有無について追加調査

8月21日(金)中間報告発表

- 排水設備等の稼働が停止した原因について、有識者の意見を伺いながら調査を実施
- 現在の一般的な設備とは異なる特徴を有していたことなどが、非常用発電機の不作動に関与した可能性(非常用発電機が起動するため、停電信号+水位超過信号の両方が必要)

8月27日(木)

「冠水事故防止に向けた当面の対応について」
⇒全国の道路管理者に通知

引き続き
詳細調査

有識者の意見
(今後の対策)

原因確定後
に最終報告

冠水対策ガイドライン策定

設備点検マニュアル改定

予防的な事前通行規制の導入箇所

●:9月4日迄導入箇所

●:9月17日導入拡大箇所

所在地	路線名
北海道釧路市	国道44号
山形県酒田市	国道7号
山形県鶴岡市	国道112号
千葉県千葉市中央区	国道16号
新潟県新潟市中央区	国道7号
鳥取県米子市	国道9号
高知県須崎市	国道56号
合計	7箇所

所在地	箇所名
秋田県北秋田市	E7秋田道
千葉県千葉市中央区	国道357号
新潟県新潟市西区	国道116号
三重県四日市市	国道1号
愛知県豊川市	国道1号
愛知県一宮市	国道22号
愛知県知立市	国道23号
愛知県清須市	国道302号
岐阜県可児市	国道21号
岐阜県大垣市	国道21号
京都府京都市右京区	国道9号
京都府京都市西京区	国道9号
大阪府大阪市西成区	国道43号
大阪府大阪市城東区	国道1号
広島県広島市南区	国道2号
合計	15箇所

●:自治体導入箇所

自治体名	箇所数
福島県	7
福島県いわき市	1
新潟県長岡市	1
茨城県	9
群馬県	4
静岡県	1
静岡県浜松市	31
三重県	1
大阪府高槻市	6
山口県	1
高知県	1
大分県大分市	8
合計	71

※令和8年9月18日時点 国交省調べ



<当面の発動基準>

- ①防災気象情報レベル4発表
- ②排水ポンプ能力の設計時間雨量を超過する降雨が予測又は実測
- ③道路管理者または警察が冠水の可能性がある判断した場合

※●:①~③のいずれかが該当した場合
●:①かつ② 又は ③が該当した場合

- TEC-FORCE等による被害状況調査の様子を発信し、道路被害の把握や早期復旧に向けた取組を周知した
- 被災箇所における応急復旧工事の状況について、現場の写真等を活用して発信した
- 被災自治体への支援活動について、現場の写真等を活用して発信した
- 一方、被災状況や復旧の現場を写真や動画で記録する人手の確保に苦慮した

■被害状況調査

国土交通省 関東地方整備局 道路部
@mlit_kanto_road

【令和8年8月千葉豪雨対応】
千葉市にて、令和8年8月千葉豪雨対応による被害状況調査・応急復旧のため、TEC-FORCE及びTEC-FORCE PARTNERが活動中です。早期復旧にむけ、被害の全容把握の調査を実施しています。
#国土交通省 #関東地方整備局 #令和8年8月千葉豪雨 #TECFORCE



午前11:48・2026年8月18日・3,533 件の表示

1 19 49 1

■被災箇所の復旧作業

国土交通省 千葉国道事務所
@mlit_chibakoku

千葉国道事務所では、令和8年8月千葉豪雨を受けた管内の道路被災箇所での復旧作業を行っております。
工事へのご理解・ご協力をお願いします。
#国土交通省 #千葉豪雨 #災害

【国道16号 白井市復旧】



午後6:38・2026年8月20日・3,065 件の表示

32 68 5

■被災自治体への支援活動

国土交通省 千葉国道事務所
@mlit_chibakoku

千葉国道事務所では、令和8年8月千葉豪雨への対応として、大網白里市へ車両移動用ドーリーを貸与して、市職員による放置車両の移動を支援しました。
また、災害対策基本法の指定についても支援（8月16日）しています。



午後4:51・2026年8月18日・7,457 件の表示

1 53 178 7

【直面した課題】

【主な検討課題】

アンダーパス冠水対策の徹底

- 局所的豪雨により短時間で冠水が発生し、アンダーパス部において人的被害等が発生。



- 気候変動により災害が頻発化・激甚化しており、アンダーパス冠水事故防止対策を強化すべきではないか。

内水氾濫時における被災車両の迅速な撤去

- 市街地等の内水氾濫により多数の被災・浸水車両が発生・放置され、緊急活動の妨げや交通事故発生につながった。



- 水害時における多数の被災車両について、早期かつ円滑な車両移動・撤去に向けた対応はあるべきか。